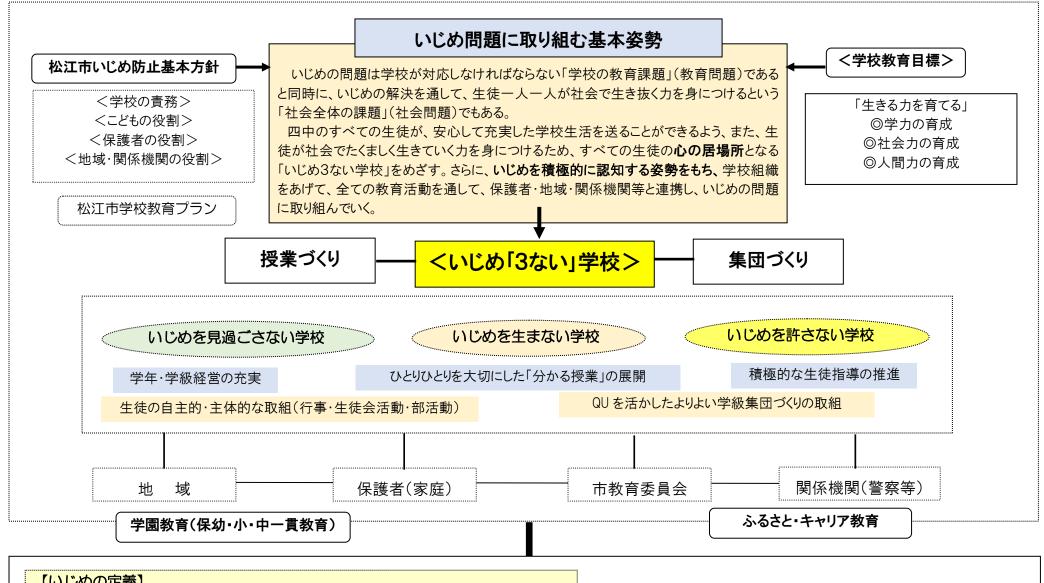
松江市立第四中学校 いじめ防止基本方針

~いじめ「3ない」学校(いじめを"見過ごさない"・"生まない"・"許さない")をめざして~



【いじめの定義】

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該 児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う、心理的又は物理的な影響を与える 行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、

<u>当該行為の対象にな</u> った児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。



(平成 25 年 いじめ防止対策推進法 第2条 いじめの定義)

「いじめ」とは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的・物理的な攻 撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」とする。

なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

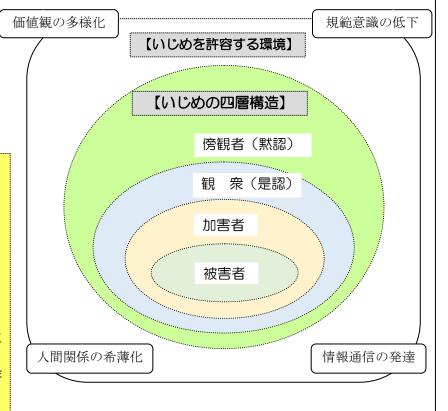
個々の行為がいじめに当たるか否かの判断を表面的・形式的に行うことなく、いじめら れている児童生徒の立場にたって行うものとする。(H18年 文部科学省 いじめの定義)

【いじめの問題についての基本認識】

- ◆いじめは、どのこどもにも、どの学級にも、どの学校にも起こり得る。
- ◆いじめは、人権侵害であり、人として決して許される行為ではない。
- ◆いじめは、大人には気づきにくいところで行われることが多く発見しにくい。
- ◆いじめは、いじめられる側にも問題があるという見方は間違いである。
- ◆いじめは、その行為の態様により暴行、恐喝、強要の刑罰法規に接触する。
- ◆いじめは、教職員の生徒観や指導のあり方が問われる問題である。
- ◆教師は、いじめに容易に巻き込まれやすい(教師の醸し出す雰囲気や態度が大きな影響を与える)。
- いじめは、発達期のこどもの心に甚大な影響を及ぼす。
- ◆いじめは、学校、家庭、地域社会などすべての関係者がそれぞれの役割を果たし、一体と なって取り組むべき問題である。
- ◆いじめは、加害者・被害者の二者関係だけで成立しているのではなく、観衆、傍観者の存 在によって成り立っている。「いじめの四層構造」への対応が不可欠である。

<いじめの構造>

社会や時代の変化(少子高齢化・情報化等)



◆いじめの早期発見の取組

◆いじめの未然防止の取組

◆いじめへの早期対応の取組

- ○日頃から教職員と生徒との信頼関係の構築 に努める。
- ○教職員が生徒の小さな変化を敏感に察知 し、いじめを見逃さない認知能力を高める。
- ○教職員間で情報を共有し、保護者や地域の 方とも連携して情報収集に努める。
- ○全教職員が愛情をもって生徒に接し、生徒 ひとりひとりの自尊感情を育てる。
- ○授業をはじめとする学校生活のあらゆる場 面で互いに認め合い、支え合い、高め合う 仲間づくり・集団づくりをしていく。
- 〇命や人権を尊重し、豊かな心を育てる。
- ○いじめの兆候を発見した時は、問題を軽視 することなく、早期に適切な対応をする。
- ○いじめられている生徒の苦痛を取り除くこ とを最優先に、迅速な対応や指導を行う。
- ○担任等がひとりで抱え込まず、学年及び学 校全体で組織的に対応する。

学校のいじめ対応(早期対応)

くいじめ対応の心構え> さ・し・す・せ・そ

<いじめ対応の基本姿勢>

- ◆いじめの兆候を発見した時は、問題を軽視することなく、**早期に適切な対応**をする。
- ◆<u>いじめられている生徒の苦痛を取り除くことを最優先</u>に、迅速な対応や指導を行う。
- ◆学級担任、教科担当等、一人で抱え込まず、**学年及び学校全体で組織的に対応**する。
- ◆いじめの再発を防止するための**日常的に取り組む実践計画を立て、継続的に見守る。**

<いじめ対応の基本的な流れ>

いじめ情報のキャッチ

教員による現認、本人からの訴え 保護者からの訴え、アンケート結果など

- ★「いじめ対策委員会」を直ちに招集
- ★被害生徒を徹底して守る
- ★見守る体制を整備(登下校、休み時間、清掃時間、 放課後等)

最悪を想定して

し 慎重に

す 速やかに

せ 誠意をもって

組織をあげて

発見後3日間が勝負

いじめ対応は

いじめ対策委員会構成メンバー ◎主任 校長、教頭、主幹教諭、◎生徒指導主事、 生徒指導専任、学年主任、学年生徒指導、 特別支援教育 CN、養護教諭、担任、関係教員、 SC、SSW、PTA 会長、学校運営協議会長、

学校関係団体 等

する。

1 次対応(緊急対応)

1 日目に 対 応

2次対応(短期対応)

3日目までに対応

そ

3次対応(長期対応)

正確な実態把握

○いじめ情報をキャッチした教

員は直ちに生徒指導主事及び

管理職に報告。いじめ対策委員

会を招集して指導方針を協議

○当事者双方、周囲の生徒からも

○関係教職員と情報を共有、正確

組織的対応と

チーム支援

〇いじめの全体像を把握する。

聴き取り、記録する。

○個々に聴き取りを行う。

に把握する。

指導体制•方針決定

- ○すべての教職員の共通理解を 図る。
- ○対応する教職員の役割分担を 考える。
- ○教育委員会(生徒指導推進室)にいじめ事案発生の第一報を 行う。必要に応じて関係機関 との連携を図る。

被害生徒の保護者への対応

加害生徒の保護者への対応

○いじめられた生徒を保護し、心 配や不安を取り除く。

生徒への指導・支援

- 〇いじめた生徒に、相手の苦しみ や痛みに思いを寄せる指導を 十分に行う中で「いじめは決し て許されない行為である」とい う人権意識をもたせる。
- ○対応する教職員の役割分担を 考える。
- ○関係機関との連携を図る。

保護者との連携

- ○直接会って、具体的な対策を話す。
- 〇協力を求め、今後の学校との連携方 法を話し合う。

〇いじめが解消(相当の期間*いじめが止んでいること、いじめられた生徒が苦痛を感じていないこと)に向かうよう、継続的に指導や支援を行う。※少なくとも3か月を目安とする。

今後の対応

- 〇スクールカウンセラー等の活用を含め心の ケアにあたる。
- 〇心の教育の充実を図り、ひとりひとりが大 切にされる学級経営を行う。
- ○学校評価(生徒、保護者および地域の関係者)におけるいじめ対応への検証と評価を 行う。

集団への指導

いじめの 四層構造への対応

<ネット上のいじめ対応>

ネット上のいじめとは・・・

パソコンや携帯電話・スマートフォンを利用して特定の子どもの悪口や誹謗中傷等をインターネット上のWebサイトの掲示版などに書き込んだりメールを送ったりするなどの方法により、いじめを行うもの

<インターネットの特殊性>

- ●発信した情報は多くの人にすぐに広まる。
- ●匿名でも書き込みをした人は特定できる。
- ●違法情報や有害情報が含まれている。
- ●書き込みが原因で思わぬトラブルを招き、別の犯罪につながる可能 性がある。
- ●一度流失した情報は回収することが困難であるだけでなく、不特定 多数の者に流れたり、アクセスされたりする可能性がある。

いじめを受けている生徒は、家庭など学校外において多くのサイン

を出している。いじめの早期発見のためには保護者の観察と協力が

必要である。そこで、子どものサインをいち早く察知するため、保護者

の観察の参考となる、「家庭用チェックリスト」を作成している。生徒の

家庭での様子で変わったことや心配なことがあれば、担任や養護教

また、生命・身体・財産に重大な被害が生じるケースには教育的

配慮と被害者の意向を配慮した上、早期に警察に相談・通報の上、

「いじめ」の早期発見 ~保護者の視点から~

諭など伝えやすい教職員に連絡・相談していただく。

警察と連携した対応をとる必要がある。

いじめ重大事態への対応

◎重大事態の意味

①生徒の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。

②生徒が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

※生徒や保護者から重大事態の申立てがあった時には、重大事態が発生したものとして報告・調査等に当たる。

◎重大事態の対応

- ①事案発生した時、教育委員会に報告
- ②教育委員会による調査主体の判断・指示
- ・いじめ対策委員会・第三者委員会・教育委員会主体の調査
- ③事実関係を明確にするための調査
- ④調査結果の報告
- ・生徒及び保護者に対する適切な情報提供・教育委員会が市長へ報告
- ⑤再調査の指示(市長が必要と認めた場合)
- ⑥松江市いじめ問題調査委員会による再調査
- ⑦再調査の結果を踏まえた措置等

<学校以外の相談窓口>

●松江市いじめ相談電話ホッとライン (いじめホッとライン)

55-5048

●青少年相談室(いじめ電話相談室)

080-200-2700

●青少年支援センター●人権男女共同参画課(学校人権教育係)

55-5425

21 - 7867

●こども家庭支援課

55-5484 55-5126

●市民生活相談課(伺います係)

0120-786-719

●ヤングテレフォン、けいさつ・いじめ110番 ●松江地方法務局子どもの人権110番

0120-007-110

●法務局子どもの人権 SOS ミニレター 設置の手紙に記入して投函

<いじめのサインを見逃さないための家庭用チェックリスト>

- 1 理由のはっきりしない衣服の汚れや破れがみられることがある。
- 2 理由のはっきりしないあざやけが(殴られた跡)がある。
- 3 持ち物(学用品や所持品)がなくなったり、壊されたりしている。
- 4 家族との会話が減ったり、学校の話題を意図的に避けたりする。
- 5 ささいなことで怒ったり、家族に八つ当たりしたりすることが多くなった。 6 登校時間になると、体調不良を訴えることがよくある。
- 7 家庭から金品を持ち出したり、必要以上に金品を要求したりする。
- 8 友達や学級の不平・不満を口にすることが多くなった。
- 9 これまで仲のよかった友達との交流が極端に減った。
- 10 友達からの電話に出たがらなかったり、遊びの誘いを断ったりする。

【いじめの態様】

- ●冷やかし・からかい・悪口・脅し文句等
- ●仲間はずれ(仲間はずし) 集団による無視
- ●軽い暴力(ぶつかる・遊ぶふりをして叩く、蹴る)
- ●ひどい暴力(ひどくぶつかる・叩く・蹴る)
- ●金品をたかられる
- ●金品を隠される・盗まれる・壊される・捨てられる
- ●いやなこと・恥ずかしいこと・危険なことをさせられる
- ●パソコンや携帯・スマホ等での誹謗中傷等

(文部科学省「問題行動等報告書」より)